

## 〈資料〉

## 安田文庫目録

渡 邊 勉\*  
智 原 あゆみ\*\*

安田三郎教授は、戦後の日本を代表する社会学者の一人である。社会階層論、数理社会学、計量社会学といった領域に限らず、調査方法論、理論社会学、日本社会論など、幅広い分野において、安田教授は多くの先進的な研究をおこなってきた。安田教授は、1979年4月より関西学院大学社会学部において教鞭をとられたが、1982年に病気に倒れ、その後一度も教壇に立たれることなく、1990年に亡くなられている。

そうした中、安田三郎教授研究資料コレクション（安田文庫）は、ご家族より1986年7月に関西学院大学社会学部が譲り受けた。コレクションのうち約400冊については大学図書館に、残り約2600冊は社会学部に配架し、保存・継承することになった。しかし安田文庫は、その後ほとんど閲覧されることもなく、保存されていた。

その後、社会学部校舎の建て替え（2014年完成）を控え、2011年にあらためて重要な資料について整理し保存していくことになったのである<sup>1)</sup>。

この安田文庫は、3つの部分に分類できると考えられる。第一に、所蔵していた書籍である。書籍については、研究書だけでなく、小説、一般書などさまざまなジャンルが含まれている。この中の一部は、大学図書館に配架されている。第二に、論文類である。さまざまな研究者から送られてきた論文、また自身で集めた論文が含まれている。第三に、安田教授自身の原稿等である。卒業論文や『社会移動の研究』の原稿等、研究会の資料、講義ノートなどが含まれている。おそらく、安田文庫の資料の中でも、安田教授の研究の軌跡を知ることができる最も重要な資料群である。

今回の目録はこの第三の部分を中心となっている。この第三の部分については、現在社会学部共同学習室にて保管され、すべて画像ファイルとしてまとめられている。ただ、実際にどのような資料が含まれているのか、これまできちんと整理されてきておらず、その全体像はわからなかった。

そこで今回、これらの最も重要と思われる資料群を、目録という形でまとめることで、その全体像を明らかにし、安田三郎教授の研究の重要性と意義を再確認していきたい。

目録作成は次の手順でおこなった。なお目録作成は、渡邊と智原が相談の上方針を決め、具体的な作業は智原が中心におこなった。最終的に渡邊が確認している。

**(1) 掲載資料の選択**

現在社会学部共同研究室にて保管され、画像ファイル化されている資料は538点ある。このうち、次の資料については目録からはずしている。

- ①安田三郎教授自身の抜き刷り論文
- ②安田三郎教授が集め、コピーした論文類

\*関西学院大学社会学部教授

\*\*関西学院大学社会学研究科博士課程後期課程

1) 中野康人（関西学院大学社会学部教授）、渡邊勉（関西学院大学社会学部教授）、前田豊（関西学院大学社会学研究科：当時）、仲修平（関西学院大学社会学研究科）によって、整理作業をおこなった。

③表紙のみで本文が存在しない資料

その結果、目録に掲載される資料は 208 点となる。

(2) 目録項目

(2)－1. 資料番号

安田文庫の資料の画像ファイルは、DVD に保管されている。そのため、各資料は、DVD の番号と、各 DVD 内での通し番号によって特定することができる。例えば Disc 2 の 16 番目の資料の場合、2-016 となる。

(2)－2. 資料名

資料名については、タイトルが明らかにわかるもの、例えばノートや封筒の表紙にタイトルが書かれている場合は、そのタイトルを資料名としている。安田教授がタイトルをつけていない資料については、内容を確認の上、智原・渡邊が資料名をつけていった。

(2)－3. 作成時期

作成時期は西暦で統一している。年度表記されている資料については、1971 年～1972 年というように年をまたいで表記している。またおおよその時期のみがわかっている場合は、〇〇年頃としている。また作成時期がわからないものについては、空欄にしている。

(2)－4. 著者

安田教授が書かれた資料であることが明らかにわかるものについては、「安田三郎」としている。また表紙に作成元が書かれている場合は、作成元を表記している。

(2)－5. 分量（ページ数）

ページ数は、資料全体の枚数としている。

(2)－6. 内容

内容については、資料の概要を記した。

(3) 資料の概要

資料は、おおよそ次の 6 つに分類される。

- ①講義ノート（安田教授が講義をした際の計画等のノート）
- ②受講ノート（安田教授が受講した際の記録ノート）
- ③研究ノート（書籍の写しや計算ノートなど）
- ④調査関連資料（調査マニュアルや調査票、基礎集計表等）
- ⑤手書き原稿（安田教授自身の論文や、書籍の手書き原稿）
- ⑥その他（覚書や、日本社会学会ニュースなどの事務書類）

(4) 目録資料の順序

目録における資料の順序は、まず (3) の 6 つの資料分類順になっている。さらに、資料番号、作成時期、内容を考慮して並べている。

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
①1-018	社会学演習(社会成層と社会移動) 昭和三四年度	1959年～1960年頃	安田三郎	163	昭和34年度「社会学演習(社会成層と社会移動)」をした際の講義ノート
①1-022	社会学概論(昭和40年度)－その二	1965年～1966年頃	安田三郎	107	昭和40年度「社会学概論」をした際の講義ノート
①1-011	社会成層及び移動論講義(1)	1961年～1962年	安田三郎	50	昭和36年度ICUにて「社会成層及び移動論講義」をした際の講義ノート
①1-013	社会成層及び移動論講義(2)	1961年～1962年	安田三郎	61	昭和36年度ICUにて「社会成層及び移動論講義」をした際の講義ノート
①1-021	昭和四四年度東大社会調査法講義(社会調査論) その一	1969年～1970年頃	安田三郎	73	昭和44年度東京大学にて「社会調査法(社会調査論)」をした際の講義ノート
①1-020	昭和四四年度東大社会調査法(社会調査論) その二	1969年～1970年頃	安田三郎	71	昭和44年度東京大学にて「社会調査法(社会調査論)」をした際の講義ノート
①1-012	昭和四四年度社会学概論(社会階層論)	1969年～1970年頃	安田三郎	102	昭和44年度の「社会学概論(社会階層論)」をした際の講義ノート
①1-017	昭和四四年度社会学概論講義(社会階層論) その一	1969年～1970年頃	安田三郎	33	昭和44年度「社会学概論講義(社会階層論)」をした際の講義ノート
①1-016	教学メモ		安田三郎	160	統計関連を中心とした授業の準備をした際のメモ
①3-032	階層論講義		安田三郎	108	「階層論講義」を行う際の講義ノート
①5-033	社会統計学講義メモ		安田三郎	206	「社会統計学」の講義をするにあたってのメモ
①5-023	昭和49年度社会学演習計画書	1974年	安田三郎	5	昭和49年度「社会学演習」の進め方についてのレジュメ
②2-019	因子分析法(その一)		安田三郎	39	「因子分析法」(担当:高木)を受講した際のノート
②2-049	受講ノート「推計学」	1949年～1950年	安田三郎	39	「推計学」(担当:増山)を受講した際のノート
②2-085	受講ノート(語学関連①)		安田三郎	21	語学関連の講義を受講した際のノート
②2-089	受講ノート(語学関連②)		安田三郎	30	英語関連の講義を受講した際のノート
②2-093	受講ノート(語学関連③)		安田三郎	11	語学関連の講義を受講した際のノート
②2-078	受講ノート(数学関連)	1967年	安田三郎	17	数学関連の講義(担当:清水)を受講した際のノート
②1-004	受講ノート(統計関連)①		安田三郎	20	統計関連の授業を受講した際のノート
②1-005	受講ノート(統計関連)②		安田三郎	6	統計関連の授業を受講した際のノート
②2-069	受講ノート「解析学」	1971年～1972年頃	安田三郎	42	「解析学」(担当:眞鍋)を受講した際のノート
②1-003	受講ノート「確率論・基礎統計法」		安田三郎	142	講義「確率論/基礎統計法」を受講した際のノート
②2-068	受講ノート「数値解析」		安田三郎	26	「数値解析」(担当:清水)を受講した際のノート
②2-055	受講ノート「線形代数学/代数学I」(続)		安田三郎	34	「線形代数学/代数学I」(担当:横山)を受講した際のノート
②2-070	受講ノート「代数学特講」	1972年～1973年頃	安田三郎	17	昭和47年度「代数学特講」(担当:稲葉)を受講した際のノート
②2-038	受講ノート「代数学I」		安田三郎	41	「代数学I」を受講した際のノート
②2-067	受講ノート「代数幾何演習」他	1971年～1972年	安田三郎	23	「代数幾何演習」等の講義を受講した際のノート

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量 (ページ)	内容
②2-025	受講ノート「幾何学演習」		安田三郎	21	「幾何学演習」(担当:田島)を受講した際のノート
②2-026	受講ノート「解析演習」	1971～ 1972年頃	安田三郎	26	昭和46年度「解析演習」(担当:眞鍋)を受講した際のノート
②2-029	受講ノート「位相空間論」		安田三郎	22	「位相空間論」(担当:松尾)を受講した際のノート
②2-034	受講ノート:社会調査一般	1952年頃	安田三郎	20	昭和27年度社会調査関連の講義(担当:福武)を受講した際のノート
②2-018	受講ノート「社会学史講義」		安田三郎	33	「社会学史講義」(担当:尾高)を受講した際のノート
②2-021	受講ノート「農村社会学」		安田三郎	29	「農村社会学」(担当:森岡)を受講した際のノート
②2-032	受講ノート「経済学史」	1949年～ 1950年	安田三郎	15	昭和24年度「経済学史」(担当:木村)を受講した際のノート
②2-046	受講ノート「哲学概論」		安田三郎	34	「哲学概論」(担当:池上)を受講した際のノート
②2-054	受講ノート「近世西洋哲学史」		安田三郎	39	「近世西洋哲学史」を受講した際のノート
②2-079	受講ノート「近世西洋哲学史」 (その二)		安田三郎	10	「近世西洋哲学史」(担当:岩崎)を受講した際のノート
②2-051	受講ノート「無機化学講義」		安田三郎	39	「無機化学講義」を受講した際のノート
②2-039	昭和四七年度 講義筆記Ⅰ	1972年	安田三郎	41	昭和47年度に受講した講義のノート(数学・物理学関連の講義が中心)
②2-040	昭和四七年度 講義筆記Ⅱ	1972年	安田三郎	38	昭和47年度に受講した講義のノート(数学・物理学関連の講義が中心)
②2-041	昭和四七年度 講義筆記Ⅲ	1972年	安田三郎	45	昭和47年度に受講した講義のノート(数学・物理学関連の講義が中心)
②2-063	昭和四七年度 講義筆記(4)	1972年	安田三郎	42	昭和47年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-062	昭和四七年度 講義筆記(5)	1972年	安田三郎	42	昭和47年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-060	昭和四七年度 講義筆記(6)	1972年	安田三郎	52	昭和47年度に受講した講義のノート(数学・物理学関連の講義が中心)
②2-061	昭和四七年度 講義筆記(7)	1972年	安田三郎	42	昭和47年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-023	昭和四七年度 講義筆記(8)	1972～ 1973年頃	安田三郎	49	昭和47年度に受講した講義のノート(統計学、物理学関連の講義が中心)
②2-059	昭和四八年度 講義筆記(1)	1973年	安田三郎	44	昭和48年度に受講した講義のノート(数学・物理学関連の講義が中心)
②2-058	昭和四八年度 講義筆記(2)	1973年	安田三郎	50	昭和48年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-045	昭和四八年度 講義筆記(3)	1973年	安田三郎	41	昭和48年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-057	昭和四八年度 講義筆記(4)	1973年	安田三郎	41	昭和48年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-073	昭和四八年度 講義筆記(5)	1973年	安田三郎	42	昭和48年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②2-072	昭和四八年度 講義筆記(6)	1973年	安田三郎	42	昭和48年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
②2-071	昭和四八年度 講義筆記(7)	1973年	安田三郎	27	昭和48年度に受講した講義のノート(数学関連の講義が中心)
②5-020	パーソンズ演習(富永ゼミ)		安田三郎	47	富永ゼミに参加していた際のレジュメや講義メモ
③2-016	『アメリカ社会と人口移動』(R.ヘバーレ著)		安田三郎	50	『アメリカ社会と人口移動』(R.ヘバーレ著、米林富男訳)の写し
③5-007	選択行動について(その三)		安田三郎	192	「選択行動」について研究していた際の研究メモ
③2-066	都市誌		安田三郎	37	各都市(能登部町、三保市、川口市、安中町、千葉市)についての概要のまとめ
③5-018	アメリカ社会移動集計		安田三郎	96	アメリカの社会移動関連の資料および、それについての研究メモ等
③2-020	因子分析法(その二)		安田三郎	40	因子分析関連の英語論文の写し、及び翻訳等
③2-022	因子分析法(その三)		安田三郎	5	因子分析関連の英語論文の写し、及び翻訳等
③5-010	海野道郎「社会過程と社会構造の数理解析-数理社会学の展開-」		海野道郎・安田三郎	58	海野道郎氏の「社会過程と社会構造の数理解析-数理社会学の展開-」の原稿、それに対する安田氏からのコメント
③5-009	士族分析		安田三郎	42	「士族」について研究していた際の研究メモ
③5-021	英文 士族の社会移動		安田三郎	139	論文「士族の社会移動」を英語に翻訳した際の資料・メモ
③2-091	覚書	1951年	安田三郎	17	研究環境、研究内容等に関するメモ
③2-028	計量社会学		安田三郎	29	計量社会学関連の英語論文の写し、及び翻訳等
③2-094	研究計画思いつき		安田三郎	28	研究構想(都市社会学関連中心)についてのメモ
③5-005	研究メモ・学会発表資料		安田三郎	74	日本社会学会の理論部会(昭和53年10月21日)で発表した際の資料、およびそれについての研究メモ
③2-090	構想ノート		安田三郎	21	哲学関連の雑誌記事の写しや、卒論についての構想
③2-095	雑誌論文覚書 調査の論理 新刊紹介	1956年	安田三郎	10	書籍に関しての覚書
③2-074	佐原町誌		安田三郎	10	佐原町誌(昭和6年)の一部の写し
③2-036	社会的成層		安田三郎	33	社会的成層関連の英語論文の本文の写し(一部研究会等の資料あり)
③2-092	社会移動論-思想編		安田三郎	18	社会移動論関連の研究メモ
③5-032	社会学概論メモ		安田三郎	122	社会学の概論についてのメモ
③2-053	社会学雑録		安田三郎	37	社会学関連の英語書籍の写し、および要約等
③2-088	社会学随想メモ		安田三郎	18	様々な問題に対する随想メモ
③2-050	社会学と統計的方法		安田三郎	33	計量社会学関連の論文の写し等
③2-064	社会心理学リーディングス		安田三郎	18	『社会心理学リーディングス』の写し
③2-065	社会調査		安田三郎	25	『Sociometry, 1937-1947: Theory and methods』の写し
③2-077	標本調査法		安田三郎	16	標本抽出関連の英語論文の写し、および翻訳
③2-052	社会物理学(その一)		安田三郎	41	社会物理学関連の英語書籍や英語論文の写し
③2-030	社会物理学 その二		安田三郎	17	社会物理学関連の英語論文の写し、及び翻訳、日本語論文の要約

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
③2-013	社会学者のための統計学 その一		安田三郎	41	「社会学者のための統計学」(ハグッド)の英語書籍の写し、及び翻訳等
③2-015	社会学者のための統計学 その二		安田三郎	41	「社会学者のための統計学」(ハグッド)の英語書籍の写し、及び翻訳等
③2-048	尺度分析		安田三郎	32	尺度分析関連の英語論文の写し、および翻訳
③2-047	書籍ノート「パーク、バージェス、マッケンジー」		安田三郎	35	『The City』(R. E. パーク、E. W. バージェス、R. D. マッケンジー著)の英語書籍の写し、および翻訳
③2-083	書籍ノート「パーク、バージェス、マッケンジー(二)」		安田三郎	19	『The City』(R. E. パーク、E. W. バージェス、R. D. マッケンジー著)の英語書籍の写し、および翻訳
③2-082	人工理論		安田三郎	20	『人工理論-研究と方法-』(林恵海著)の写し
③2-076	推計学断片		安田三郎	12	推計学関連の研究メモ
③2-012	操作主義的社会学		安田三郎	35	操作主義関連の英語論文の写し、及び翻訳等
③2-014	操作主義と実践的方法		安田三郎	22	分析手法関連の英語論文の本文の写し、およびメモ
③2-075	ソーシャル・フォーシズ		安田三郎	4	『Social Forces』に掲載された英語論文の翻訳
③2-035	形式社会学		安田三郎	21	形式社会学関連の論文の写し
③2-037	都市社会学		安田三郎	41	都市社会学関連の英語論文、ドイツ語論文、日本語論文の写し
③2-027	都市地理学	1971～1972年頃	安田三郎	10	「都市地理学」関連の論文の写し
③5-008	日本社会学会発表 選択行動について(その2)	1977年	安田三郎	74	「選択行動」について研究していた際の研究メモ
③1-001	メモ(確率論)①		安田三郎	89	確率論に関するメモ
③1-002	メモ(確率論)②	1950年	安田三郎	118	確率論の教科書をもとにしたメモ
③1-006	メモ(統計関連)①		安田三郎	15	受講していた講義の教員への質問リスト、および講義内容のメモ
③1-007	メモ(統計関連)②		安田三郎	9	統計関連について勉強した際のメモ
③1-008	メモ(統計関連)③		安田三郎	2	統計関連について勉強した際のメモ
③1-009	メモ(統計関連)④		安田三郎	2	統計関連について勉強した際のメモ
③1-010	メモ(統計関連)⑤		安田三郎	20	統計関連について勉強した際のメモ
③2-044	ランドバーク「社会学の基礎」第一章第二章		安田三郎	31	『社会学の基礎』(G. A. ランドバーク著)の英語書籍の写し、および翻訳
③2-043	ランドバーク「社会学の基礎」第五章第六章		安田三郎	38	『社会学の基礎』(G. A. ランドバーク著)の英語書籍の写し、および翻訳
③2-042	ランドバーク「社会学の基礎」第七章第八章		安田三郎	31	『社会学の基礎』(G. A. ランドバーク著)の英語書籍の写し、および翻訳
③2-080	ランドバーク「社会学の基礎」第九章		安田三郎	11	『社会学の基礎』(G. A. ランドバーク著)の英語書籍の写し、および翻訳
③2-033	論文ノート:パーソンズ関連		安田三郎	21	T. パーソンズ関連の英語論文の写し
③5-025	論文メモ(統計関連)		安田三郎	13	統計関連の論文を手書きでメモしたもの
⑤6-001	卒業論文計画第一分冊		安田三郎	29	卒業論文を執筆するにあたっての構想ノート
⑤6-002	卒業論文計画第二分冊		安田三郎	27	卒業論文を執筆するにあたっての構想ノート
⑤6-003	卒業論文計画第三分冊		安田三郎	16	卒業論文を執筆するにあたっての構想ノート

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
③2-081	ブランク 一般力学		安田三郎	19	『一般力学』（ブランク著）の写し
③2-024	勉強ノート		安田三郎	29	研究についての様々な覚書等
④3-003	「日本の教育と職業」調査票	1975年		29	「日本の教育と職業」の調査時の調査票
④3-050	SSM 1955	1955年		17	1955年 SSM 調査の調査票
④3-046	SSM 1960			25	SSM 1960 の調査票（12 p×2 部）
④3-033	SSM 60 集計表		安田三郎	183	SSM 60 の基礎集計表
④3-042	SSM 主婦調査集計表		安田三郎	108	SSM 主婦調査についての基礎集計表
④3-047	SSM 調査調査票（1952）			43	SSM（1952年）の調査票（東京大学社会学研究室）（7 p×6 部）
④3-004	1965年 SSM 調査単純集計表	1966年		18	1965年 SSM 調査の単純集計表（機械集計分のみ）
④3-017	1965年 SSM 調査単純集計表	1966年		18	1965年 SSM 調査の単純集計表（機械集計分のみ）、安田氏は集計責任者を担当
④3-015	1965年 SSM 調査単純集計表（訂正用）	1966年		18	1965年 SSM 調査の単純集計表（機械集計分のみ）の校正原稿
④3-027	1975年 SSM 調査 コード・ブック、及びお礼状	1976年	1975年 SSM全国調査委員会事務局	51	1975年 SSM 調査のコード・ブック、及び富永健一氏から安田三郎氏へのお礼状
④3-028	1975年 SSM 調査 コード・ブック	1976年	1975年 SSM全国調査委員会事務局	50	1975年 SSM 調査のコード・ブック（3-027と同じ）
④3-030	1975年 SSM 調査基礎集計表	1976年	1975年 SSM全国調査委員会事務局	73	1975年 SSM 調査の基礎集計表
④3-039	AM 研究会			97	AM 調査に関する研究会でのレジュメや配布資料
④3-035	日野調査集計表		安田三郎	143	日野調査の簡単な概要、および基礎集計表
④3-045	JUDY			169	JUDY- I の調査票（21 p×8 部）
④3-026	SM・AM 調査 職業総合分類表（1969）			3	SM・AM 調査の際の職業分類のコード表
④3-040	TAS II 集計表（二次分析）		安田三郎	126	TAS II 調査についての基礎集計表
④3-048	TAS III・IV	1964年、1967年		51	1965年 TAS III 調査の手引き（決定版）、TAS III 調査票（調査員の書き込みあり）（10～11 p×3 部）、1967年 TAS IV 調査票
④3-041	TAS III 集計表		安田三郎	46	TAS III 調査についての基礎集計表
④3-034	TAS IV		安田三郎	125	TAS IV の基礎集計表
④3-038	TSSM 009		安田三郎	46	階層、階級に関連した基礎集計表
④3-025	一九六七年 TAS IV 調査の手引き			9	1967年 TAS IV 調査実施の際のマニュアル
④3-008	各種職業分類（その2）	1957年	統計基準局	8	尾高・西平氏の作成による職業分類の冊子
④3-043	家族と社会移動集計表		安田三郎	209	家族と社会移動に関連した基礎集計表及びまとめ、関連論文

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
④1-026	質問紙のワーディング(2)	1966年～1969年頃		53	調査票を作成する際の質問文の検討メモ
④3-005	社会的成層と移動調査経過要綱	1955年～1957年		20	調査を実施した際の詳細についての抜刷り
④3-037	社会移動測定法		安田三郎	93	SSM 65を用いた世代間移動を中心とした基礎集計表
④1-014	社会移動調査票集成	1958年～1961年頃		100	さまざまな調査の調査票のサンプル(SSM 60、SSM 主婦調査、都民の生活と意識など)
④1-015	社会移動調査票集成(2)	1961年～1969年頃		56	さまざまな調査の調査票のサンプル(都民の生活意識調査、教職と職業に関する世論調査など)
④3-009	社会調査実験マニュアル	1962年～1964年	東京教育大学社会学研究室	26	社会調査の実施方法について書かれた冊子
④3-013	社会調査実験マニュアル・第2版	1962年～1964年	東京教育大学社会学研究室	25	社会調査実験の実施方法について書かれた冊子
④3-010	社会調査実験マニュアル・第3版①(問題点指摘)	1965年～1968年	東京教育大学社会学研究室 ／東京大学社会学研究室	30	社会調査実験の実施方法についての冊子の改訂に向けた原稿
④3-012	社会調査実験マニュアル・第3版②	1966年～1970年	東京教育大学社会学研究室 ／東京大学社会学研究室	30	社会調査実験の実施方法について書かれた冊子、最後に第4版の正誤表あり
④3-014	社会調査実験マニュアル・第3版③	1966年～1970年	東京教育大学社会学研究室 ／東京大学社会学研究室	30	社会調査実験の実施方法について書かれた冊子、最後に実験の実施状況についての記録有り
④3-011	社会調査実験マニュアル(第五版用原稿)	1966年～1970年	東京教育大学社会学研究室 ／東京大学社会学研究室	30	社会調査実験の実施方法についての冊子の改訂に向けた原稿
④3-031	社会調査と社会移動	1978年	1975年SSM調査委員会	223	1975年SSM調査の調査報告書
④3-029	社会調査ハンドブック		安田三郎編	169	ご自身がまとめた社会調査のハンドブック
④1-027	社会移動と教育	1969年頃	安田三郎	169	それぞれの調査についての概要、及び単純集計(単純集計の内容は学歴移動や都市移動、職業移動が中心)使われている調査は、SSM 55、SSM 60、SSM 65等
④3-049	消費生活世論調査	1961年		17	消費生活世論調査の調査票(8p×2部)



分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
④3-016	心理学普通実験演習指導書		東京大学 心理学研究 研究室	27	心理学の実験演習の調査マニュアルの冊子
④3-007	世論調査のやり方		西平重喜 ／統計数理 研究所	38	調査の実施方法についての冊子
④3-044	その他資料(分類等)		安田三郎	18	社会調査の基礎集計表(調査名不明)、およびSM・AM調査職業総合分類表(1969)
④1-028	単純集計原票(SSM 1965, SSM 65)		安田三郎	70	SSM 1965、SSM 65の単純集計のまとめ(単純集計の内容は家族構成や収入、ライフスタイル等)
④3-036	比較社会移動		安田三郎 (原純輔)	72	社会の流動性指標および流動性指標を用いた国際比較、基礎集計等
④5-012	偏見調査			221	調査を行われる際の書類や調査票、また調査に関連する研究メモ等
⑤2-107	『社会移動の研究』0・0 本論文の意図と構成		安田三郎	24	『社会移動の研究』「目次、00節 本論文の意図と構成」の手書き原稿
⑤2-101	『社会移動の研究』5 要約・「社会移動論研究」要旨・「社会移動論研究」概要		安田三郎	40	『社会移動の研究』「5 要約」、「社会移動論研究」要旨、「社会移動論研究」概要の手書き原稿
⑤2-009	『社会移動の研究』1・2 社会移動の概念		安田三郎	66	『社会移動の研究』「1・2節 社会移動の概念」の手書き原稿
⑤2-105	『社会移動の研究』1・2 社会移動の概念(つづき)		安田三郎	34	『社会移動の研究』「1・2節 社会移動の概念」の手書き原稿
⑤2-106	『社会移動の研究』1・3 社会移動の測定		安田三郎	52	『社会移動の研究』「1・3節 社会移動の測定」の手書き原稿
⑤2-109	『社会移動の研究』1・3 社会移動の測定(つづき)		安田三郎	63	『社会移動の研究』「1・3節 社会移動の測定」の手書き原稿
⑤2-110	『社会移動の研究』1・3 社会移動の測定(その三)		安田三郎	57	『社会移動の研究』「1・3節 社会移動の測定」の手書き原稿
⑤2-111	『社会移動の研究』2・1 社会移動の趨勢 社会主義志向		安田三郎	23	『社会移動の研究』「2・1節 社会移動の趨勢、支持政党と社会主義志向」の手書き原稿
⑤2-112	『社会移動の研究』2・1 社会移動の比較社会学		安田三郎	57	『社会移動の研究』「2・1節 社会移動の比較社会学」の手書き原稿
⑤2-113	『社会移動の研究』2・1 社会移動の比較社会学(つづき)		安田三郎	55	『社会移動の研究』「2・1節 社会移動の比較社会学」の手書き原稿
⑤2-114	『社会移動の研究』2・2 士族と平民の社会移動		安田三郎	64	『社会移動の研究』「2・2節 士族と平民の社会移動」の手書き原稿
⑤2-115	『社会移動の研究』2・3 社会移動としての配偶者選択		安田三郎	56	『社会移動の研究』「2・3節 社会移動としての配偶者選択」の手書き原稿
⑤2-116	『社会移動の研究』2・4 家族と社会移動の問題		安田三郎	66	『社会移動の研究』「2・4節 家族と社会移動の問題-兄弟順位を中心に-」の手書き原稿
⑤2-103	『社会移動の研究』3・1 社会移動態度の構造分析		安田三郎	46	『社会移動の研究』「3・1節 社会移動態度の構造分析」の手書き原稿
⑤2-104	『社会移動の研究』3・1 社会移動態度の構造分析(つづき)		安田三郎	43	『社会移動の研究』「3・1節 社会移動態度の構造分析」の手書き原稿
⑤2-010	『社会移動の研究』3・2 社会移動態度の条件分析		安田三郎	70	『社会移動の研究』「3・2節 社会移動態度の条件分析」の手書き原稿

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量(ページ)	内容
⑤2-011	『社会移動の研究』3・3 立身出世と社会移動の価値態度、3・5 日本社会論		安田三郎	47	『社会移動の研究』「3・3節 立身出世と社会移動の価値態度」「3・5節 日本社会論」の手書き原稿
⑤2-097	『社会移動の研究』4・1 社会移動と出生行動		安田三郎	81	『社会移動の研究』「4・1節 社会的毛管現象説の検討」の手書き原稿
⑤2-098	『社会移動の研究』4・2 欲望満足延期説の検討		安田三郎	40	『社会移動の研究』「4・2節 欲望満足延期説の検討」の手書き原稿
⑤2-099	『社会移動の研究』4・3 社会移動に関する準拠集団説の検討		安田三郎	25	『社会移動の研究』「4・3節 社会移動に関する準拠集団説の検討」の手書き原稿
⑤2-100	『社会移動の研究』4・4 社会移動と社会的態度：結論と考察		安田三郎	20	『社会移動の研究』「4・4節 社会移動と社会的態度：結論と考察」の手書き原稿
⑤2-108	『社会移動の研究』1・2 素描：社会移動の思想史的系譜		安田三郎	70	『社会移動の研究』「1・2節 素描：社会移動の思想史的系譜」の手書き原稿
⑤2-102	『社会移動の研究』付1 社会移動研究小史		安田三郎	67	『社会移動の研究』「付1 社会移動研究小史」の手書き原稿
⑤2-001	卒業論文 第一分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	30	自身の卒業論文「はじめに～第1章計量 4. 尺度の分類」
⑤2-003	卒業論文 第二分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	33	自身の卒業論文「1章5. 先験的尺度～8. 意見の尺度」
⑤2-002	卒業論文 第三分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	34	自身の卒業論文「1章9. 因子分析～12. 集計と要約」
⑤2-004	卒業論文 第四分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	28	自身の卒業論文「第2章 推測 13. 推測～15. 標本抽出の理論」
⑤2-005	卒業論文 第五分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	30	自身の卒業論文「2章16. 統計的検定法～18. 社会調査に於ける統計的検定法適用の諸問題」
⑤2-006	卒業論文 第六分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	25	自身の卒業論文「第3章 数量的方法の意義～附説I 推計学と統計学」
⑤2-007	卒業論文 第七分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	27	自身の卒業論文「附説II 社会現象の数量的理論」
⑤2-008	卒業論文 第八分冊「社会調査における数量的方法の諸問題」	1950年	安田三郎	28	自身の卒業論文「附説III DODDの量的体系学、補註、参考文献表」
⑤5-004	地位不整合のマイクロ理論		安田三郎	105	「地位不整合のマイクロ理論－不整合効果とその意義について」の手書き原稿
⑥5-006	読売年鑑の「社会学」の記事・原稿	1971年～1977年頃	安田三郎	38	読売年鑑に掲載されていた「社会学」の記事の昭和46～52年度版、およびその原稿
⑤5-019	「東洋経済大辞典」の原稿		安田三郎	59	東洋経済大辞典に書かれた「社会階層」の原稿のコピー
⑤5-031	「社会調査」の手書き原稿		安田三郎	194	「社会調査」の手書き原稿
⑥5-011	「SEMINAR ON THE CHALLENGE OF JAPAN'S INTERNATIONALIZATION: ORGANIZATION AND CULTURE」の開催関連書類	1981年頃		27	「SEMINAR ON THE CHALLENGE OF JAPAN'S INTERNATIONALIZATION: ORGANIZATION AND CULTURE」1981年6月30日～7月5日、申請書類や当日の進行等
⑥2-017	参考書リスト(統計学関連)		安田三郎	3	統計学関連の参考書についてのメモ
⑥2-031	社会測定研究会 例会討論要旨	1959年	不明	13	社会測定研究会第1回～第8回例会の討論要旨集
⑥1-029	昭四五行動計量シンポジウム報告資料	1970年頃		325	昭和45年の行動計量学シンポジウムの報告資料(抜き刷りや手書き資料のコピーなど)、及びそれに関するメモ

分類・資料番号	資料名	作成時期	著者	分量 (ページ)	内容
⑥1-019	数理社会学研究会		安田三郎	52	「数理社会学研究会」に関するメモ等（内容は数理モデルが中心）
⑥3-002	図表①		安田三郎	14	図表（詳細は不明）
⑥5-026	図表②		安田三郎	11	何かの法則に基づいて数列をまとめた表
⑥2-084	都市社会学研究会（第二分冊）		安田三郎	16	「都市社会学研究会」に関する記録
⑥2-087	都市社会学研究会（第一分冊）	1957年～ 1958年頃	安田三郎	21	「都市社会学研究会」に関する記録
⑥2-086	図書印刷物管理簿		安田三郎	17	印刷された資料等の記録リスト
⑥5-035	日本社会学会	1960年～ 1966年		185	1960年～1966年までの日本社会学会ニュース
⑥5-036	日本社会学会（その二）昭和四一 年度より	1966年～ 1967年		154	1966年～67年の日本社会学会ニュース、および関連学会のニュース等
⑥5-034	日本社会学会ニュース 昭和四七 年度より	1972年～ 1978年		196	1972年～1978年までの日本社会学会ニュース
⑥5-024	百分率計算表		安田三郎	124	百分率を表にしまとめたもの
⑥5-027	第54回大会日本社会学会報告要 旨、および学会発表資料			221	日本社会学会第54回大会の要旨集、および自身が参加した社会意識部会の報告資料